



名古屋いのちの電話だより

相談電話〈052〉971-4343

くるしみなやみ いっしょに し み じ み

事務局電話 〈052〉971-5181

No. 8

1987. 6.

発行責任者 相馬 信夫

”A friend in need is a friend indeed” (まよかの時の友こそ真の友) という表現を中学校の英語の授業で教わりました。もちろん英語の表現を覚えるためです。しかし私は、この表現の意味するところの重要さを、年令をとるにつれて実感するようになりました。

人は、その人生の過程で沢山の人が会います。この中には通りすがりのすぐ忘れてしまう人もいますし、いつまでも心に残る人もいます。心に残る「出会い」というのは、楽しいときのそれもありませんが、どちらかといえば、苦しいときの「出会い」、そのときに互いに助け合い励まし合った人の方がより強く心に残るものです。

個人的なことでは、私も中学を出てすぐ就職しました。生活が極端に貧しかったため「生活保護」のお世話も受けました。しかし、それだからこそ、その過程でずい分多くの人に助けられました。なかなか思うようにならない人生でしたが、そのときに必ず私を励まし支えてくれた

悩みの場での 関わりを大切に

弁護士 内河 恵一

知人友人が数多くいたのです。私は、考えてもいなかった「弁護士」という仕事をする事になりました。この道で生きようと私に決意させ、ふんばらせたのも多くの人に助けられた「そのお返しを」という考え方だったのです。その上、弁護士になって何よりも私の「力」になってくれるのは、昔のつらかったときの体験であり、そのときに身につけたささやかな「知恵」なのです。

が、落第しないように、挫折しないようにと、至れり尽せりの指導をしている今の学校や親の姿をみると、「挫折こそ子供の成長のプロセスであり、そこから立ち上る力を与えることが教育である」という原点はすっとんでしまっています。うれしくないことですが、これからも、人知れず悩み苦しむ人が増えることでしょう。この悩みや苦しみに積極的に関わっていくこととする「いのちの電話」や、そ

今の時代は、誰もが豊かだと感じ、堂々と助け合っていくことが減ったように思います。「見栄」が強くなった分だけ、悩み苦しみを隠したが、その分だけ一人一人の心にある苦悩は増すはず。互いの心の奥深くひそむ悩みを本当に分ち合つことがむずかしくなってきたのです。子供の世界も例外ではありません。こんなむずかしい時代ですから、困難に負けない強い子供が育つとよいのです

れに携わる人々の重要さがますます大きくなっていくと確信せざるを得ません。「弁護士というのは、いやな問題を扱うのが仕事ですから大変でしょう」とよく言われます。しかし、この世の中で解決されない問題はあります。悩みを真剣に悩み、その次に光明を見出したとき一人の人間が大きく、確実に成長するのです。この人間の成長に関わ得るということのすばらしさを私は感ずるのです。ライフラインのその営みが、今日も人を生かし、成長させていることを心から覚えたいものです。

(理事)

86年の統計からみた名古屋の電話

86年の相談電話受信内容の実態がまとめられた。これは日本のちの電話連盟へ報告するためにまとめられたものだが、それを通して相談電話の傾向を知ることができる。

全体的な傾向では、性・人生・夫婦で相談件数の半分を占めており、男女別にみると、男性では性の問題が約三三%と著しく多い。特に一〇代では圧倒的に性の悩み・不安・疑問の相談が多く、現代の若者の性に関する悩みや屈折した思いが強いのを痛感する。女性では人生が約一九%と多く、次に夫婦の約一八%が続く。三〇代四〇代の女性では夫婦間の不和、不満が特に多く現代女性の生き方とも関係があるように思われる。

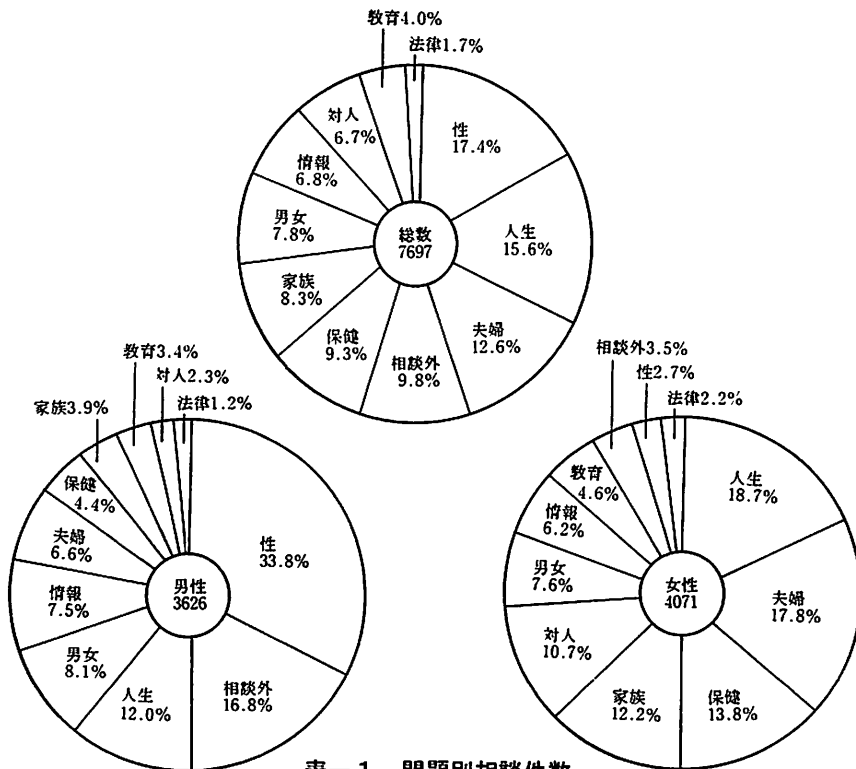
電話の総対応時間は約三、〇〇〇時間である。そのうち男性は約九〇〇時間、女性は約二、一〇〇時間となっており、女性は男性の約二倍の時間を要している。対応時間からみると女性の場合は、人生・家族・夫婦・対人と深刻で複雑な訴えが多いため対応時間が長くなっ

ていると思われる。一方男性の場合は、教育・家族が幾分長くなっているが、他は女性に比べて全体に短い時間で終わっている。件数との比較でみると性の訴えが多い割に一件あたりの所要時間は約一〇分と短い。

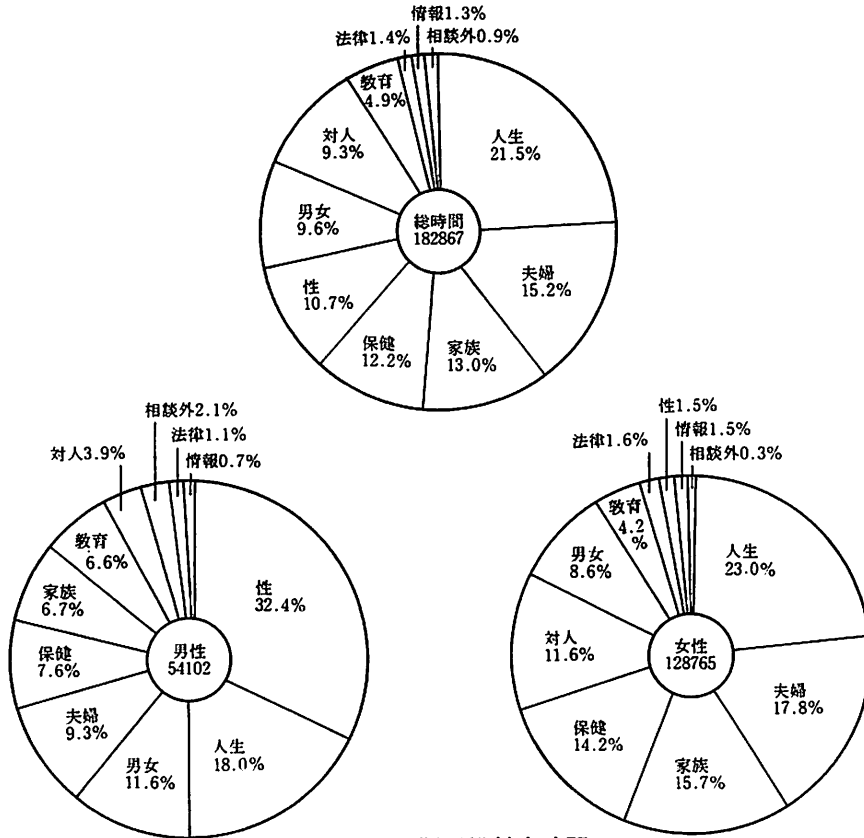
その他の傾向としては、二〇代から四〇代にかけての精神の病気の訴えが多いのは注目すべき事である。このことは、精神の病気をもっている方が「いのちの電話」を利用して話相手を求めていることを表わしている。

また、86年の統計では自殺念慮のある方からの受信は全体の約一・五%である。傾向としては、一〇代二〇代の前半の利用者の自殺念慮をもつものが他の年代に比べて著しく多い。また、訴えの内容では人生・保健(精神の病氣)に集中しており、自殺とそれらの関係は不可分のものと考えられる。

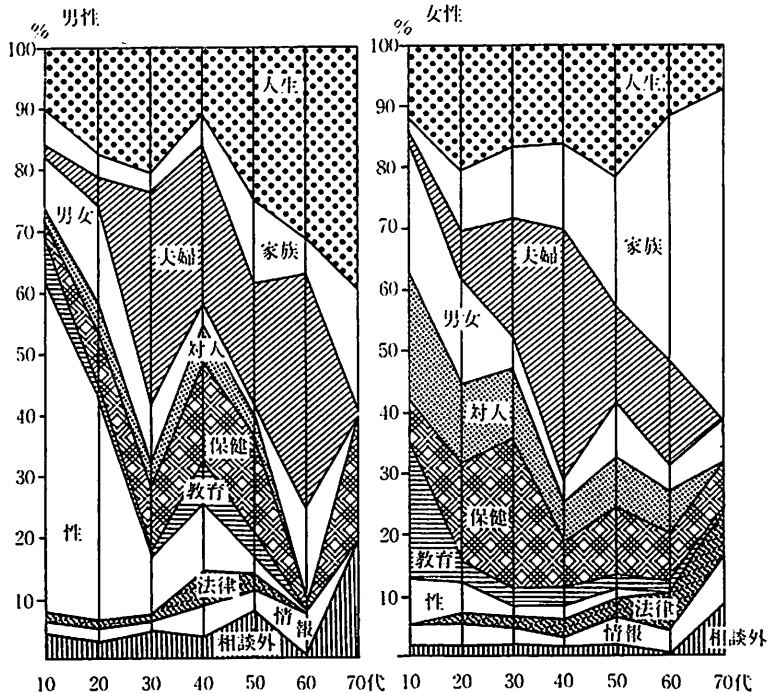
以上のような統計からうかがえる相談電話の実態を今後の「名古屋のちの電話」の活動に生かしていきたいと考えている。



表一 問題別相談件数



表一 問題別絶対対応時間



表一 問題内容と年代の関係

理事会報告

運営委員会報告

塚田道生

【第五回】 一九八六・一〇・一五

出席・委任状提出 一名

主な決定事項

- 一 二以上の委員会に係る事項を検討・協議・調整するために委員長会議（委員長・事務局局長連絡会）を開催すること。
- 二 仏教界から理事を得るための具体策を講じること。
- 三 理事長に事故ある時は運営・財務・訓練委員長の順で理事長の職務を代行すること。

【第六回】 一九八七・一・二八

出席・委任状提出 一〇名

主な決定事項

- 一 一九八七年度予算、原案を一部修正して承認。総額は一、五八二万円
- 二 島田理事の訓練委員長辞任。四月一日付で中堀理事が訓練委員長に就任すること及び同理事が帰国するまでは山口真人訓練委員が委員長代行となること。

【第七回】 一九八七・五・二七

出席・委任状提出一〇名

主な決定事項

- 一 加藤理事の辞任。富田信夫氏およびP・チョーク氏に対して理事就任を委嘱。
- 二 一九八七年度補正予算を承認。総額は当初予算より一五〇万円増の一、七三二万円。
- 三 豊田理事の基金募集委員長就任。目標額、期間等についての検討を財務委員会に付託。

（事務局長 小川義雄）



運営委員会は種々様々な課題を与えられていますが、皆様の御協力により実施することが出来たことを感謝いたします。

四月からの新委員は昨年度の委員の内二人が退任し、新たに二人が加わり十人で発足いたしました。今後も除々に委員の新旧交代を進める方針で、なるべく多くの人の協力をお願いしたいと思っています。運営委員会は今まで、各種の行事、催しの企画や実行のための活動に追われる結果になってきました。しかし、これで良かったのかという反省の声が出て、今年度の検討課題とされています。特に、電話相談ボランティアの人たちと名古屋のちの電話全体の運営との関わりを距離を縮めていく努力が必要で、その面での役割を担えるようにしていきたいと思っています。

さて、昨年度の運営委員会の開催は十一回ですが、その他にボランティア部、特別事業部、広報部、内規検討部、調査部の五部会に分

かれ、運営上の具体的な諸問題を抱えてそれぞれに活動しています。昨年度に実施したおもな事項をあげますと次の通りです。

- 1 チャリティ・コンサート（五・一〇）
 - 2 事務局の移転（五・二四）
 - 3 開局一周年記念式典（七・五）
 - 4 ボランティアフォーラム（九・一）
 - 5 理事、委員研修会（二〇・一八）
 - 6 「世話人会」の発足のための検討
 - 7 その他、内規の検討、機関紙の発行等
- このうち第一回のフォーラムの中から多くの意見や苦情、提言などが出され、それらの一つ一つの声を尊重し、出来るものから具体化し、実行するよう運営委員会として最大限の努力をいたしました。今後大勢の方々からのご意見、ご協力をお待ちしています。

（運営委員長）

訓練委員会報告

山口 真人

全国に急速に広がりつつある「いのちの電話」運動は、独自の充実した相談員の養成訓練を行っているところがボランティア相談活動とは違う大きな特色となっています。「名古屋いのちの電話」も「日本いのちの電話連盟」の一員として、相談員の養成プログラムの充実にも全力を挙げて取り組んでおります。

相談員養成の責任を担っている訓練委員会の活動は、電話相談員希望者の募集に始まり、相談員の養成研修から認定後の継続研修にまでおよぶ総ての研修計画立案と実施を通して、ひとり一人の相談員の能力開発を援助するところにその目的を置いております。

八六年四月には一期生九一名が認定され、その後一回のスーパージョンと一〇回のグループによる継続研修を終了しました。二期生は八六年九月に仮認定を受け、

その後二回のスーパージョンを受けて八七年四月に三六名が認定されました。三期生の研修は八六年一〇月から始まり、人間関係基礎訓練、講義受講、ロールプレイによる研修、宿泊集中研修などを経て八七年四月に約四〇名が仮認定を受けました。八七年度は三期生の養成研修を引続き行い、八七年一〇月に認定を行なう予定です。また既に実務についている相談員の資質向上のための研修はグループによる継続研修(一〇回)とスーパージョン(一回)に加えて、精神科医や心理臨床家の方々にも参加していただくケース研究会(毎月)を八七年四月から新たに開始しました。

これらの多様な研修は「名古屋いのちの電話」の財産であり、相談員を目指す研修生や相談員として活躍中のボランティアの方々はもとより、さまざまな研修に講師・

ファシリテーター・スーパージョーとして関わって下さる方々、激務を笑顔でこなして下さる事務局の方々、そして多忙を裂いて遅くまで話し合いを続ける訓練委員の方々のご努力とご協力によって実現されていることを感謝いたします。

最後になりましたが、「名古屋いのちの電話」発足からの草創期に訓練委員長のご重責を担ってこられた島田麗子氏がYWCAの人事移動にともない八七年三月を以て退任されたことを報告いたします。本当に長い間有難うございました。後任には中堀仁四郎氏が就かれました。また訓練委員会も四委員が新たに就任され、訓練委員会の強化が計られました。

今年の秋には三期生の認定が行われ、現在約一二〇名いる認定相談員が約一六〇名に充実してきます。しかし相談電話回線の増設や相談受付時間の延長が現在検討されており、訓練委員会の仕事はますます忙しくなりそうです。

(訓練委員長代行)

賛助会費の 納入ねがい

昨年度は新規賛助会員増強のために、多数の方のご協力を頂き、誠にありがとうございます。今年度も広い範囲の市民の方々のご支援にさえられて運営資金を確保していくよう考えております。

賛助会費の納入時期については特に定めておりませんが、年度初めは特に資金が不足いたしますので、なるべく早くお納めいただきますよう、お願いいたします。

郵便振替は「名古屋一五三七五八」をご利用ください。

☆事務局では事務局ボランティア(実にさまざまな仕事があります)を求めています。ご希望の方はご一報下さい。

事務局電話

〇五二一(九七一)一五一八一

財務委員会報告

一九八六年度の決算報告はごらんのように約三百万円の赤字会計となり、大変申し訳ない結果となりました。こゝに反省をかねてご報告をいたします。

先ず収入の部ですが、開局一年目は名古屋に新しい市民運動が始まったという意気込みと各方面の方々のご支援で寄付金、年末寄付金が予算通り入りました。ところが第二年目は寄付金・年末寄付金共に初年度のように行かず個人・団体共に大口の寄付金が予定通りは入りませんでした。又、「賛助会員増強運動」を展開し、新しい協力者獲得を計画し、約百名の方々

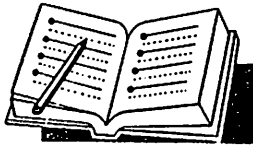
が新規賛助会員に加入して下さいましたが、当初の目的には達しませんでした。

支出の部ですが、「みこころゼンター」への事務所移転が実施され、便利になり新たな気持で活動を始めたのですが、それにとともに設備・備品代、住所変更にもなるパンフレット、封筒から領

収書に至るまで作成しなりましたので支出増となりました。事務費や管理費は極端に切りつめて使用し、一五〇万円を節約しました。

昨年度の反省点として、財務委員会は財政の把握と賛助会員獲得に努力し、新たに寄付金のための委員会を発足し、法人化基金を作ることを含めて積極的に企業や団体、個人に働きかける動きをしないと三年目は乗り切れないとの結論になり、次年度はそのように実行に移していきたいと考えております。

(文責) 財務委員会



今年一月より開始された「継続研修」グループより一名ずつ世話人が選出され、二月十六日に第一回の世話人会が発足しました。十二名の世話人と事務局員四名、運営委員一名が集って二時間の話し合いがありました。

一昨年七月に「名古屋いのちの電話」発足以来、各相談員が息もつかずに試行錯誤でここまでたどりついたという感じでした。一生懸命でした。ただ毎日の電話を真剣に聞くだけでした。二年目に入り少し気持ちよとりが出て来て、二期生を迎え横のつながりも広がって来ましたが、相談員同志の相互理解はまだまだまだしい現状でした。この時期に継続研修のための十二グループが発足したこと、同時にこのグループをつなぐ「パイプ役」としての世話人会の発足は非常に意義のあることと思います。しかし正直なところ、第一回の世話人会の時は「一体世話人とは何をするのか」という思いが私も含めて各世話人中にあったことは事実でした。「電話相談員としての任務は全うして来た」これ以外のことを深く考えて見る機会はまだなかったのですから……。

「私とあなた」のいのちの電話

——世話人会発足にあたって——

A・Y

二年目という一人歩きからそろそろ廻りが見えて来る時期です。相談員同志の人間関係の問題、「私といのちの電話」とのかゝり、「名古屋いのちの電話」の運営は財政面はどうか、など、もう少し広い角度から相談員一人一人が少しずつ知って行かなければならないことが有るのを感じました。今迄は各ボランティア部で相談業務の円滑を計るために一部の方達が時間と労力をさいて活躍して下さいました。これからはこれにかえて相談員一人一人が「私のいのちの電話」という気持ちでグループ毎にかゝわりを持って行きたいと思えます。どんな小さなことでも自分が疑問に思ったこと、知りたいこと、批判したいことなど、すべてグループの中で吐き出して頂きたい。世話人はこれを世話人会に提出して皆の共通の問題として考えて行くこと、これが世話人の任務であることを自覚しました。私自身、今迄電話を取るだけでせい一ぱいの生活でしたがこの機会にもう少し成長しなければと思っているこのごろです。

(世話人会代表)

1987年度予算

収入の部		支出の部			
科目	1986年予算	1987年予算	科目	1986年予算	1987年予算
賛助会費	3,500,000	4,000,000	事業費	3,370,000	3,000,000
賛助会費(A)	1,600,000	2,000,000	教育・訓練	2,500,000	2,100,000
賛助会費(B)	1,000,000	1,100,000	広報	500,000	500,000
賛助会費(C)	900,000	900,000	調査・研究	120,000	150,000
寄付金	5,500,000	6,000,000	渉外費	200,000	250,000
個人	2,000,000	2,000,000	移転費	50,000	
団体	3,500,000	4,000,000	事務費	1,640,000	1,610,000
年末寄付金	3,000,000	3,500,000	通信費	700,000	700,000
助成金	1,000,000	1,000,000	印刷費	600,000	600,000
特別事業	1,000,000	1,620,000	事務用品	200,000	200,000
講座受講料	2,400,000	1,080,000	会議費	60,000	30,000
受取利息	50,000	20,000	旅費・交通費	80,000	80,000
雑収入	70,000	100,000	人件費	7,120,000	8,010,000
			給与	6,440,000	7,030,000
			通勤費	450,000	450,000
			社会保険	200,000	500,000
			雑給	30,000	30,000
			管理費	2,830,000	1,940,000
			共益	400,000	480,000
			車庫	180,000	
			光熱	550,000	300,000
			電話	240,000	400,000
			消耗品	360,000	260,000
			保険	100,000	100,000
			保管	0	100,000
			倉庫	1,000,000	300,000
			雑費	100,000	100,000
			減価償却	100,000	100,000
			予備費	100	100,000
			法人化基金	1,000,000	700,000
			連盟分損金	260,000	260,000
			法人化基金へ返済		1,500,000
収入総計	16,520,000	17,320,000	支出総計	16,520,000	17,320,000

年間計画予定

- 4月4日(土) 第I期生登録更新研究会(必修)
 - 4月7日(火) 第II期生認定式
 - 5月20日(水) 大掃除(全員集合…ネ)
 - 5月第4週 自主研修会(連絡調整係)
 - 6月2日(火) 第3回チャリティーコンサート
由紀さおり・安田祥子
童謡をうたう 於愛知文化講堂
チケット¥2,000
 - 7月4日(土) 第2回ボランティア・フォーラム(ミニ・バザー)
 - 9月5日(土)～6日(日) 相談員一泊研修会(於学生センター)
 - 10月 第III期生認定
 - 11月2日(月)～4日(水) 全国大会(於東京代々木)
 - 11月17日(火) 公開講演会
講師「遠藤周作氏」
 - 11月26日(木) 大掃除
 - 12月12日(土) 親睦会
 - '88年2月 自主研修会
 - " 3月 第4期生募集
- いずれのプログラムも多数のご参加をお待ちしております

大津橋だより

11月9日はじめての継続ケース研修会(昼夜二回)、財務委員会、25日機関紙No.7発行、発送する。26日内規案を考える会、27日名古屋西ロータリークラブでアピール。12月2日あちらこちらで忘年会があり、各々親睦をはかり合った。4日内規案を考える会、5日近畿地区訓練担当者会議(於神戸) 6日自主グループ、9日ボランティア部連絡会、11日ボランティア新聞係、資源台帳係、12日近畿地区統計会議(於関西) 13日全体親睦会(ミニ・バザーも催され楽しい会でした) 15日訓練委員会、16日連絡調整係、18日大掃除(床がピカピカになりきれいになったが、手伝人が少かったので疲労困憊) 21日記録整理係、22日運営委員会、87年の新年があげ、お正月の担当の方々、ご苦労様。「もしもしNo.6が発行された」1月5日仕事始め、8日継続訓練スタッフ会、ボランティア新聞係、9日内規案を考える会、12日訓練委員会、16日ロールプレイスターフ会、18日記録整理係、19日ボランティア部連絡会、21日財務委員会、23日近畿地区主事会(於奈良) 28日理事会、29日運営委員会、29日連盟訓練担当者会議(於大阪) 30日自主研修会(講師 河恵一氏) 2月3日NHKラジオにて宣伝、9日自主研修会、内規案を考える会、12日ボランティア新聞係、一泊研修スタッフ会、15日記録整理係、16日グループ世話人会、17日連絡調整係、調査係、18日チャリティーコンサート実行委員会、19日担当編成係、継続研修を考える会、23日訓練委員会、25日広報係、26日ボランティア部連絡会(新旧) 28日「もしもしNo.7発行」3月6日世界婦人祈禱日でアピール、7日内規案を考える会、7日第3期生一泊研修(於野間) 9日運営委員会、10日中日新聞「回転いす」にてアピール。11日ボランティア新聞係、16日チャリティーコンサート実行委員会、グループ世話人会、17日連絡調整係、18日広報係、23日訓練委員会、担当編成係、24日ボランティア部連絡会、27日近畿地区統計会議、29日スーパーバイザー研修会、30日認定委員会

(佐藤)

— 感 — 謝 — 報 — 告 — (1986年11月1日~1987年3月31日) (順不同・敬称略)

賛助会員(A)

加藤順一	本吉信江	伊藤倫子	早川頭一	笠井康助	高鈴木紀	本武二	紀武二
青木恵子	伊藤久保子	藤川稲代	福井智	井田幸子	鈴荒菊	木川地	浩一郎
清川喜代子	須田静	折重幸	神言会宣教事務局 (城北自動車学校②)	伊藤郁子	井上耕一	上耕一	地
秋山自動車販売(株)	内藤弘	名古屋学院大学	(株)富士機械	内田連治	八木武志	木武志	志
日本勸業角丸証 券(株)名古屋支店	江口勇	恒川新市	(株)富士機械	明比輝代彦	長谷川妙子	谷川妙子	子
岩田亮二	木全昭二	内河恵一②	名古屋ミノルタ 事務機(株)	豊田幹司郎	西原新一	原新一	事
伊藤とき子	大浦支計子	大竹よし子	日本キリスト教 団広路教会	佐々木武昭	(株)マツヤ商	松永滋	朗
宮田太平(株)	大和田勝	水野由吉	愛知車輛興業(株)	田中健次郎	片岡満	岡満	男
三栄工商(株)	廣野善久	相馬信夫	志村信夫	田中健次郎	合計	61口	640,000円
草川善仁							
会沢俊三②							
犬山寂光院							

賛助会員(B)

桑山敦子	日本キリスト教団 鳴海教会婦人会	富樫きみ	中野郁子	近藤国親	森崎康宣	崎富子	宣
伊藤義美子	中尾道子	津村俊充	西村洲衛男	平田節子	鈴木富子	島シズ	ズ
伊藤静子	竹村絹子	樋田大二郎	尾瀬静枝	近藤直枝	福水沢	水沢みち子	子
岸正倫	森ひさ子	太田敦子	日本キリスト教団 春日井教会	林比佐雄	藤田和男	田和男	男
岡田喜美江	青木明子	内柱綾子	岳野フサエ	初井英夫	菅原和夫・美智子	和夫・美智子	子
清水健司	橋本芳子	松本かずゑ	野銅芳末	三井里美	横地欣也	地欣也	夫
壺井正吉	壺井純松	南端晴子	鶴比高	宇佐長	佐大塚	大塚	博
島田内田	足立文彦	瀬村文	匿名1名	合計	57口	285,000円	
石田義人	グラビア 俊子						

賛助会員(C)

長栗倉山	久明子	梅武伊高	西日一	島井圓村	悦ひ俊良	代子郎	葛岡浅村	谷崎見上	信和方頼	子貴子	浅衛佐鈴	井藤藤木	幸静千和	子恵代彦	石真常小	黒山富谷	まゆみ	
柳生苗	球信子	藤高橋田	西来安	圓村間	俊良の	子郎	岡浅村	見上	方頼	子貴子	佐鈴	藤木	静千和	恵代彦	真常小	山富谷	子子	
蒔苗島	信純	寺安瀬	西来安	村間	のぞみ	子郎	渡山宮	上	頼	子貴子	内渡杉	藤木	克守敏	子明行	町水松	田野野	子哉子	
長木全	藤沙美	瀬戸永	西来安	村間	のぞみ	子郎	山宮	上	頼	子貴子	内渡杉	藤木	守敏	子明行	水松	野野	子哉子	
伊藤新	久直	瀬戸永	西来安	村間	のぞみ	子郎	山宮	上	頼	子貴子	内渡杉	藤木	守敏	子明行	水松	野野	子哉子	
玉新清	直美	瀬戸永	西来安	村間	のぞみ	子郎	山宮	上	頼	子貴子	内渡杉	藤木	守敏	子明行	水松	野野	子哉子	
合計																	59口	180,000円

法人会員

清田産業株式会社② 合計 20,000円

寄付金(個人)

野村潔	林たか枝	中嶋啓夫	富内長	梅澤小川	晴子隆	島田麗子	
長岡利貞③	清島須栄子	楠中村三雄⑤	内野崎	小水山島	進ハナ	リチャード・メリット	
伊藤雅子	佐々木さと子③	菅原真弓・芳樹	唐	小水山島	進ハナ	相澤佐和子	
伊藤孝一	菅原和夫・美智子	名古屋ユニオンチャーチ	小川義雄	山島原	進ハナ	志村澄江②	
浜本孝子(誕生)	高須瑞枝	名古屋ユニオンチャーチ	小川義雄	山島原	進ハナ	山口幸男	
須藤よし子	木村知	伊藤幸子	石黒	山島原	進ハナ	服部友香	
根万寿男	平野よし子	相馬信夫		山島原	進ハナ	ほんの気まぐれ	
匿名3名				山島原	進ハナ	合計	62口 463,000円

寄付金(団体)

カトリック東山教会 日本キリスト教団南山教会婦人会 名古屋港カトリック教会 聖アウグスチノ修道会
 川名山聖靈修道院 日本キリスト教団金城教会 日本キリスト教団名古屋中央教会 日本福音ルーテル名古屋
 教会 松坂屋 カトリック一宮教会④ ティファラの会② 名古屋ゾントクラブ 南山ファミリーYMCA・
 南山幼稚園・親睦会ミニバザー 名古屋西ロータリークラブ YMCA 聖心布教会③ 名古屋カトリック司
 教館 布池カトリック教会 聖母カテキスタ会 日本キリスト教団愛知教会婦人会 日本キリスト教団名古屋
 屋東教会婦人会 東海銀行本店 聖心会名古屋修道院 日本キリスト教団半田教会 合計 30口 2,384,862円

年末・クリスマス寄付金

林郁子	佐藤洋子	岩野翠	伊藤玄之	藤藤一	児玉光雄	千波富美子
中井文子	貝植沼恭	佐藤辰学	伊藤敬子	藤本敬子	川秋田	工藤育子
島尾初子	片山悦子	藤吉康司	内成植	海木浩子	大隅美里	森今井文子
神回俊郎	高橋郁子	金子紀子	成植	植田望	河田いさを	加藤隆一
林温江	神田喜代子	清川喜代子	名波正子	福田昌男	ティファラの会	金子
長岡利貞	佐藤藤子	飯塚三千子	森昭子	日本キリスト教団	小川義雄・マリ子②	日本キリスト教団
鈴木武二	八事聖霊幼稚園	津田富子	有田信子	愛知教会	宇佐美夏子	名古屋東教会婦人会
林たか枝	山内創	中川鋪子	森宣子	日本キリスト教団	中川晋介	中野悦美
植田勇二・敏子	幼き聖マリア修道会	相馬貞蔵	鈴木道子	有森本和之	石田喜代子	湯田豊子
土方つや子	西村良子	日本基督教改革派	松村睦子	鈴木道子	佐尾三保子	西山本妙子
武嶋恵子	勝股かね	八事教会	田中あさ子	松村睦子	日本聖公会聖マ	小笠原祐次
川瀬直美	日本キリスト教団	山田章恵	宮田喜代子	松村睦子	タイ教会	森ひさ子
山田真理	春日井教会婦人会	今川茂利代	三輪淑子	田中あさ子	諏訪昭子	柴田純子
岩間義郎	高須速夫	加藤みゆき	水野愛子	宮田喜代子	佐藤加恵	須藤よし子
土田クリスティーナ	日本聖公会中部	聖マリア幼稚園	日本キリスト教団	三輪淑子	大橋京	久野ひろ子
竹内宏子	岩田邦子	平井瑞子	日本キリスト教団	水野愛子	ドミニコ会聖ヨ	岡田清子
グリーンクラブ	鳥居平和	太田美恵	榎本久美江	日本キリスト教団	ゼフ修道院	矢満田篤二
飯尾てる	金城教会婦人会	宮原瑛子	小谷充子	榎本久美江	梅澤満子	徳永泰子
廣重義次	大池ひとみ	川津錦子	石川美恵	小谷充子	内柱綾子	日本キリスト教団
由井哲夫	浜野正子	梶浦和由	佐野百合子	石川美恵	日本キリスト教会	熱田教会
吉川つげ	北聖霊修道院	内藤文子	小島初江	佐野百合子	名東教会婦人会	多和田いみ子
山中高	野田平一	堤晴子	玉置恵子	小島初江	村瀬政子	岩佐敏志
日本キリスト教団	柳原佳枝	日本キリスト教団	日本聖公会聖マ	聖ドミニコの宣教	木島正司	八木一江
名古屋東教会	加藤三緒子	成田良子	ルコ教会	修道女会岡崎修道院	ノートルダム教	相馬康人
在日大韓基督教	平松光栄	三井とみゑ	神田輝夫	育修道女会	育修道女会	日本キリスト教団
名古屋教会	水野静子	白井泰子	中山佐和子	日本キリスト教団	日本キリスト教団	南山教会
西村清	宇佐美保子	豊田江美	杉浦玉	豊田教会教会学校	日本キリスト教団	西村 穂
高田邦彦	金城学院高等学校	神野一子	森下眸	白田治子	白田治子	矢吹三千代子
高川口鐘一	知立カトリック教会	水野美代子	鷗野秋信	聖霊病院	聖霊病院	石垣弘子
吉武節子	吉村直子	岐阜カトリック教会	新生保育園	田内昭	田内昭	浅野稔
小坂橋秀行	石黒豊重	日本キリスト教団	日本フリースト	山下政一・登代子	川口亨	木全昭二
木全磨沙美	北村功	中京教会	豊橋カトリック教会	五藤昭子	早川重	早川重
伊藤倫子	光ヶ丘女子高等	小幡美登里	戸田安士	内河恵一	山田直樹	山田直樹
西沢信正	学校生徒会	日本キリスト教団	相馬信夫	河村公子	山田直樹	山田直樹
学校法人金城学院	カトリック高蔵	名古屋西教会	日本キリスト教団	林 晃	グループ糸の花	グループ糸の花
傍島千咲子	寺教会	長谷川妙子	尾張一宮教会	カトリック膳棚教会	日本キリスト教団	日本キリスト教団
Y W C A	小久保俊三	芝原慶次②	水野享好	カトリック恵方	刈谷教会	刈谷教会
日本福音ルーテル		伊藤暉男	鈴鹿教会	町教会	日本キリスト教団	岡崎次坪伝道所
希望教会教会学校		日本キリスト教団	伊藤暉男	長浦カトリック教会	小牧カトリック教会	小牧カトリック教会

発行 「名古屋いのちの電話」

事務局 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目

みこころセンタービル4F

TEL <052> 971-5181

振替 名古屋1-53758

発行責任者 相馬信夫

長谷川妙子 水野享好

芝原慶次② 渡辺宜親

伊藤暉男 中谷塩子

伊藤暉男 伊藤みつ子

助成金 社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

林 晃 カトリック膳棚教会

カトリック恵方町教会

長浦カトリック教会

川名山聖徳修道院

合計 250口 1,619,508円

50,000円